



— 日本学術会議主催公開シンポジウム —

3つのポリシー策定と分野別の参照基準

本年3月に学校教育法施行規則が改正され、全国の大学等は、卒業認定、教育課程、入学者受入れの3点に関する方針(ポリシー)を策定し来年4月までに公表することが義務付けられるとともに、今後の認証評価についても、中教審の審議まとめにおいて、ポリシー等に基づいた内部質保証を重視していく方向性が示されました。

3つのポリシーに関して中教審が作成したガイドラインの中で、学術会議の参照基準を卒業認定のポリシー策定の参考資料とすることが言及されています。

日本学術会議では、平成23年度から学士課程教育の分野別の参照基準の策定を順次進めており、現在25分野の参照基準を作成・公表しています。しかしながら、分野別の参照基準とは具体的にどのようなものか、未だ大学関係者の間でも必ずしも十分に知られていません。

分野別の参照基準は、各分野の学問の本質を掘り下げて把握し、そこから学生がどのようなことを身に付けることができるのかを考察した点に一つの重要な特色がありますが、こうしたことを分かりやすく説明し、各大学でのポリシーの策定や、それに基づく教育の質保証への具体的な取組みに役立てていただくために本シンポジウムを開催します。

日 時:平成28年12月17日(土)13:00~17:00

場 所:早稲田大学小野記念講堂 (会場の地図は裏面を参照ください。)

お申込み・お問い合わせ(裏面を参照ください。)

— プログラム —

13:00 開会の挨拶 大西 隆(日本学術会議会長、豊橋技術科学大学学長)

13:05~15:05 第1部 講演

「分野別の参照基準と3つのポリシーの策定」

北原和夫(東京理科大学大学院科学教育研究科教授)

「言語・文学分野の参照基準について」

塩川徹也(東京大学名誉教授、日本学士院会員)

「電気電子工学分野の参照基準について」

保立和夫(東京大学理事・副学長、東京大学大学院工学系研究科教授)

「大学教育の質保証をめぐる近年の動向」

早田幸政(中央大学理工学部教授)

「分野別の参照基準と学習成果」

松下佳代(京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

15:05~15:20 休憩

15:20~16:55 第2部 パネルディスカッション

モデレーター 吉田文(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

広田照幸(日本大学文理学部教授)

パネリスト 大西隆、北原和夫、早田幸政、松下佳代、高祖敏明(学校法人上智学院理事長)

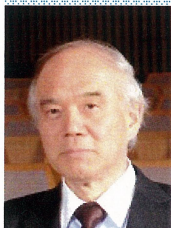
16:55 閉会の挨拶 北原和夫

※ 会場提供の早大以外の後援機関は現時点でいずれも予定

主 催:日本学術会議 大学教育の分野別質保証委員会

後 援:文部科学省、国立大学協会、公立大学協会、私立大学団体連合会、国立高等専門学校機構、大学改革支援・学位授与機構、大学基準協会、高等教育評価機構、早稲田大学

登壇者のご紹介



大西 隆 おおにし・たかし

日本学術会議会長・豊橋技術科学大学学長。1948年生まれ。東京大学大学院工学系研究科博士課程を修了(都市工学専攻)、工学博士。長岡技術科学大学助教授、アジア工科大学院助教授、MIT客員研究員、東京大学工学部助教授等を経て、東京大学大学院工学系研究科教授、2013年より東京大学名誉教授。2015年より一般社団法人国立大学協会副会長。2006~2011年日本学術会議連携会員、2012~日本学術会議 大学教育の分野別質保証委員会委員長



松下 佳代 まつした・かよ

京都大学高等教育研究開発センター教授、専門は教育方法学(特に、学習論、能力論、評価論)。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程研究指導認定退学。京都大学博士(教育学)。京都大学教育学部助手、群馬大学教育学部助教授等を経て、2004年より現職。著書に、「パフォーマンス評価」(日本標準)、「(新しい能力)は教育を変えるか」(ミネルヴァ書房、編著)、「ディープ・アクティブラーニング」(勁草書房、編著)等がある。2014年~日本学術会議連携会員



北原 和夫 きたはら・かずお

東京理科大学大学院科学教育研究科教授。専門は非平衡系の統計物理学。1946年生まれ。東京大学大学院で物理学修士号、ブリュッセル自由大学で理学博士号を取得。MIT化学科研究員、東京大学理学部物理学科助手、静岡大学教養部助教授、東京工業大学物理学部応用物理学科助教授・教授、国際基督教大学教授等を歴任。東京工業大学名誉教授。2002年日本物理学会会長。2003~2005年日本学術会議会員、2005年より同 連携会員、2008~2011年同 大学教育の分野別質保証委員会委員長、著書に「国際流動化時代の高等教育」(松塚ゆかり編、ミネルヴァ書房、2016年)等



高祖 敏明 こうそ・としあき

学校法人上智学院理事長、同大学総合人間科学部教育学科教授。専門は比較教育史。1947年生まれ。上智大学大学院文学研究科教育学専攻博士課程満期退学。同文学部教育学科助手、講師、助教授、教授を経て、2005年4月から現職。2012~日本学術会議特任連携会員。2008~2011年同大学教育の分野別質保証推進委員会副委員長、2012年~同大学教育の分野別質保証委員会委員



塩川 徹也 しおかわ・てつや

東京大学名誉教授、日本学士院会員。1945年生まれ。パリ・ソルボンヌ大学博士課程修了。長年フランス語フランス文学の教育に携わると同時に、パスカルを中心とする近世フランスの文学・思想・宗教の研究に取り組んできた。2005年日本学士院賞、2014年フランス学士院人文・社会科学アカデミーのカステックス賞受賞。近刊に「パンセ」全訳(岩波文庫、全3巻)がある。2006~2014年日本学術会議連携会員、2009年より同大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会委員、同推進委員会言語・文学分野の参照基準検討分科会副委員長、次いで委員長



吉田 文 よしだ・あや

早稲田大学教育・総合科学学術院教授。専門は教育社会学、高等教育論。1957年生まれ。東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。博士(教育学)。メディア教育開発センター助教授・教授を経て、2008年4月から現職。著書に、「大学と教養教育」(岩波書店)、「『再』取得学歴と問う」(共編著、東信堂)、「航行をはじめた専門職大学院」(共著、東信堂)等がある。2014年~日本学術会議連携会員、同大学教育の分野別質保証委員会委員



保立 和夫 ほたて・かずお

東京大学 理事・副学長、同大学院工学研究科教授。1951年生まれ。1979年東京大学大学院工学系研究科電気電子工学専攻博士課程修了(工学博士)。同大専任講師、1983年同大教授。東京大学工学部長/大学院工学系研究科長、東京大学産学連携本部長を歴任。フットニックスセンシング、光情報処理等の研究に従事。日本学術会議会員。2015年~同電気電子工学委員会委員長、2013~2015年 同電気電子工学分野の参照基準分科会委員長、同総合工学委員会委員、2016年~応用物理学会会長、IEEE、電気情報通信学会、計測自動制御学会、応用物理学会フェロー



広田 照幸 ひろた・てるゆき

日本大学文理学部教授。専門は教育社会学、教育史、社会史。1959年生まれ。東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得の上退学。南山大学文学部講師・助教授、東京大学大学院教育学研究科助教授・教授を経て、2006年10月から現職。著書に、「陸軍将校の教育社会史」(世織書房)、「格差・秩序不安と教育」(世織書房)、「ヒューマニティーズ 教育学」(岩波書店)などがある。2014年~日本学術会議連携会員、同大学教育の分野別質保証委員会委員、2015年~日本教育学会会長



早田 幸政 はやた・ゆきまさ

中央大学理工学部教授。専門は高等教育制度、教育法。1953年生まれ。中央大学大学院博士(前期)課程修了。地方自治総合研究所常任研究員、大学基準協会大学評価・研究部部長、金沢大学大学教育開発・支援センター教授、大阪大学大学評価・情報分析室教授を経て現職。著書に、「アメリカ公共政策大学院の認証評価システムと評価基準」(公人の友社)、「法と憲法」(ミネルヴァ書房)等

会場地図



聴講のお申込み・お問い合わせ

聴講ご希望の方は事前にメールで、ご氏名・ご所属を明記の上、以下の1番目のアドレスにご連絡下さい。先着順に受付確認を返信致します。お問い合わせは2番目のアドレスにご連絡下さい。

聴講お申込み hyoka-sympo@rs.tus.ac.jp (北原和夫)

お問い合わせ hirota.hideki@jaxa.jp (シンボ事務局 廣田)

事前登録なしの聴講も可能ですが、聴講者が会場定員(206席)を上回る場合は別会場モニター中継をご覧いただくか、もしくは聴講いただけない可能性があります。